

TAKADA トピックス

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会主催イベント 「あなたの現場のウィズコロナ／アフターコロナ アイデア募集！」 最優秀賞受賞



日本プラントメンテナンス協会より記念の盾を授与
(写真左から 岩本工場長・加来室長・北村さん)



新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい始めた2020年、当社でも安心・安全の確保と経済活動を両立させるため、テレワークをはじめ様々な感染症防止対策を行いました。第1波が収束した同年7月、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会（以下 JIPM）は「感染者を出さず、かつ工場を停めない生産」を行うための工夫やアイデア・改善を募るイベントとして、「あなたの現場のウィズコロナ／アフターコロナ アイデア募集」を開催し、当社からはNK活動で報告された改善事例の中からテーマに合った本社工場の事例を動画にして応募いたしました。

JIPMの地域委員による投票の結果、思いがけず当社の事例が最優秀賞に選ばれ、2021年11月9日(火)、JIPMの赤堀様より改善者の本社工場品質管理室・加来室長へ記念の盾と副賞のマスクが授与されました。

お客様の困りごとを解決するTAKADAらしい事例として応募した結果、社外の方にも高い評価をいただき大変嬉しく思います。



JIPM 赤堀様より盾を受け取る加来室長

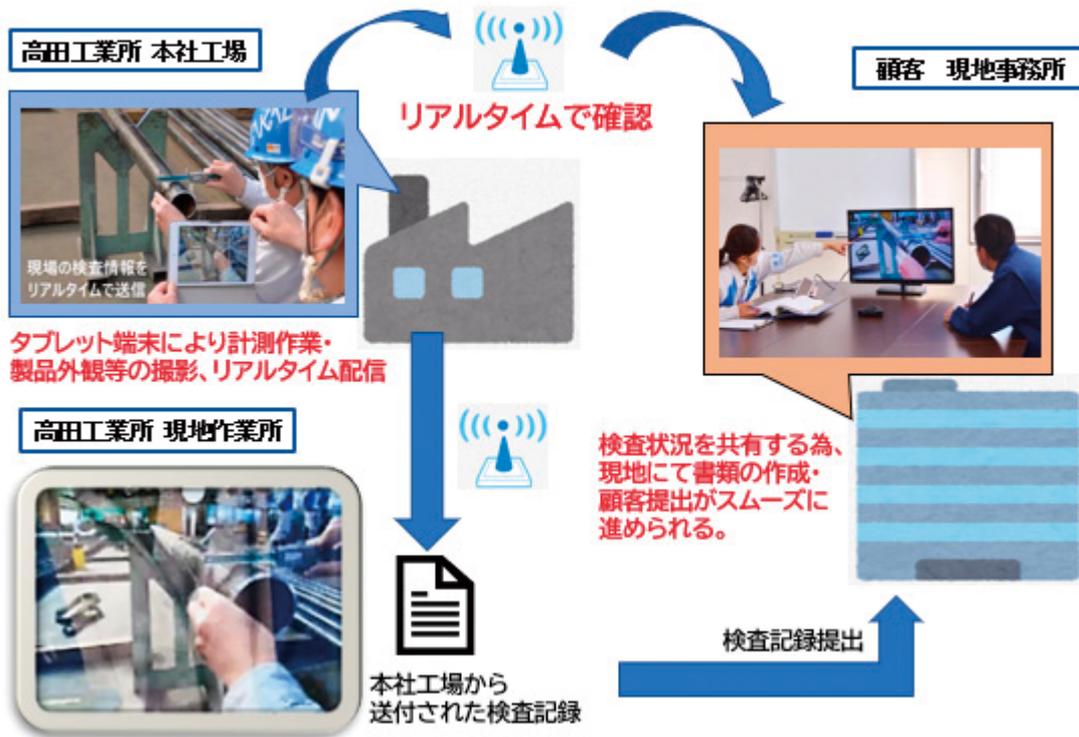


JIPM 佐藤様のインタビューに答える
加来室長と北村さん



副賞のマスク
(オリジナルラベル付き)

3密を避けた遠隔立会検査の実施



新型コロナウイルスの影響で立会検査が出来ない状況が続き、お客様の建設工程に影響が出る恐れがあった。そのため、お客様が当社に検査で来社いただけなくても検査が出来る方法をお客様と話し合い、タブレット端末を使用したリモート検査を検討した。実際にデモを行い、特殊な検査以外でのリモート検査導入を許可していただいた。

※動画は JIPM 公式 YouTube チャンネルからご覧いただくことができます。

https://www.youtube.com/channel/UCD0nfBa_HiodjV9o8JutA8g



加来室長によると、有料のビデオ通話アプリも候補にあがったものの、無料アプリでも必要な画質が得られ、コストをかけずに改善出来たこともメリットのひとつということでした。

このような対策は、今では珍しいことではありませんが、初めての緊急事態宣言が発令された当時、正解がわからない状況下で暗中模索を繰り返し、出来ることは何かを検討・実施して成果を上げた好事例として紹介いたします。

松永 さとみ (技術本部 企画開発部)

浜田 宏昭 (技術本部 企画開発部)

※掲載中の写真は、撮影のためマスクを外しています。